

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像	生きる力をはぐくみ、はばたく子 ～ 学びの集団づくり ～
-----------------	------------------------------

堺市立 中百舌鳥小学校
校長 中野 悦古

<p>令和8年度 重点目標 <3校共通重点目標(確かな学び)> ○予測困難な社会において、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え判断して行動し、他者と協同しながら確かな学びに向けて努力できる。 ○多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて根拠を持って自分の考えを相手にわかるように正確に伝えることができる表現力を身につける。</p>	<p><本校の重点目標> 重点1:「居場所と出番」がある集団づくりと「心の教育」の推進 重点2:「勉強がわかる」と感じる授業づくりと「総合的な学力の育成」 重点3:「気持ちの良い環境」「安心できる環境」の構築 重点4:成長を感じる「学校力」の向上</p>
--	---

<p>確かな学びの現状 ○基本的な知識や計算力などは全体的には定着しており、教科学力や学びの基礎力について、力をつけてきている児童が多い。しかし、問題解決力や社会参画力などの社会的実践力については、課題が見られることから、教科や総合的な学習で問題解決的な学習や探究活動に積極的に取り組む、問題解決力や社会的実践力を高めるようにする。 ○基礎基本となる「A問題」に加え、「B問題」に対応できる力(獲得した知識の活用能力)については、二極化が見られることから、「考える力」を身につけさせるための授業改善を引き続きめざす必要がある。</p>	<p>豊かな心・健やかな体の現状 ○いつでもどこでもだれとでも気持ちのよいあいさつができる子が増えてきている。すすんで、多くの子どもたちが自分からあいさつをするようになってきている。 ○子どもたちが安心して、毎日笑顔で楽しく登校できるよう「居場所と出番」がある集団づくりと「自分がされて嫌なことは人に言わない。しない。」「ありがとう」「ごめんなさい」は魔法の言葉、この言葉を合言葉に「心の教育」に取り組んでいる。さまざまなことに前向きに取り組めるように子ども主体で学校生活を進めていく。多くの児童が多様な他者の考えや立場を理解しようとしている。 ○新体力テストでは、全国平均を下回る種目が多くあり、敏捷性や持久力に課題が見られる。特にシャトルランでは気持ちの面で「あきらめる」ことが結果となっていることもあり目標を掲げ、体育の 最初の時間を使って5分間走を行い体力向上を図るとともに、かけあしチャレンジなどの体育的行事をはじめ、なわとびカードでの体力づくりなどに取り組んでいる。体力向上につながる遊びを取り入れる必要があると考えている。 ○将来にわたって健康について考えられる子をめざし、「運動を好きになる」「運動を自ら進んでやる」ための取組を充実させる必要がある。</p>
---	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	基礎学力の定着	読む・書く・計算する力などの基礎的な学力を継続的に育成する	●ノート指導と家庭学習の充実(自主学習の推進)により、学びの基礎力及び基礎的・基本的な学力の定着を図る。	「授業の内容がよく分かる」で肯定的評価をそれぞれ92%以上にする。 「毎日宿題をする」で肯定的評価を90%以上にする。	全国学テ すくすくウオッチ アンケート	2・3学期					
	総合的な学力の向上	児童が自分の考えを持ち、伝える力を育成する	●★ノート指導(めあて、ふりかえり)やペア、グループでの話し合いを通して、自分の考えを伝えることができるようにする。 ●話し合い名人(7つの約束)を学校全体で共有し、徹底していくことで、自分の意見を堂々と伝えるクラス、学校づくりを進める。	自力解決・話し合う・振り返る場面を授業に位置付け、1時間に1回はペア、グループでの話し合いを行う。 「話し合い名人(7つの約束)」を意識できているかのアンケートを取り、肯定的評価をそれぞれ90%以上にする。	実施状況 アンケート	2・3学期					
豊かな心・健やかな体	豊かな心	人権を尊重する心と態度を育てるとともに、望ましい人間関係を築く	●★たてわり活動で異学年交流を増やし、相手の気持ちを考えた言動がとれる子に育てる。	「たてわり活動は楽しく参加できましたか」で肯定的評価を80%以上にする。	アンケート	2・3学期					
			いじめ等問題行動については、子ども支援委員会を中心に、予防的取組と早期発見・早期解決に努める。	子どもに真摯に向き合い、教育相談やともだちアンケート(「いやなことをいわれたことがある」などの質問)を通して、常に時・場・目的に応じた支援をする。	実施状況	2・3学期					
生活習慣	生活習慣	基本的な生活習慣(生活・学習のリズム)を身に付けさせる	●「挨拶・返事・丁寧な言葉遣い」のできる子を育てる。	「挨拶をしている」で肯定的評価を98%以上にする。	全国学テ すくすくウオッチ アンケート	2・3学期					
			学習規律の確立と安心できる環境づくりに努める。シャトルランの校内平均が堺市平均を上回るよう、体育の授業では全学年必ず「5分間走」を実施し、心身ともに健やかな体の育成に努める。	「学校の決まりを守っている」「学校に通うのが楽しい」「健康で元気に育っている」で肯定的評価をそれぞれ95%以上にする。	全国学テ すくすくウオッチ アンケート	2・3学期					
(協働・共育)	情報発信	「教育は共育＝今日行く」学校・家庭・地域・関係機関との協働体制の充実を図る	学校だより・学年だより・学校HP等で学校の様子を伝える。	「学校だよりやHPなどで適切に伝えている」で肯定的評価を90%以上にする。	アンケート	2・3学期					
			学校協議委員会や学級懇談会、学校教育アンケート等で出てきた意見を学校改善に反映させる。	学校協議会での意見や、学校教育アンケート結果等の情報を教職員全体で共有し、改善を図る。	アンケート 実施状況等	各学期					

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------